

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		年齢や成長に合わせたテーブルや椅子を用意しています。	指定基準上、問題ないスペースが確保されています。
	②	職員の配置数は適切である	○			指定基準上、問題ない職員数が配置されています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		周囲の刺激に敏感な方も利用できるような部屋がご利用可能です。また、事業所内は、段差のない構造となっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		コロナ禍中でも安心して過ごしていただけるよう除菌・清掃を徹底しております。また、国の指針に沿った対策を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		新しい個別支援計画を作成する際には、スタッフ全員で意見交換を行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所内評価を実施し、職員全員で共有しより良い活動をできるよう励んでいます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		集計結果は、クラ・ゼミの校舎内の掲示や HP で公開しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は現在、行われておりません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナ禍でも Web を利用した全体会議や、事例検討会を定期的 to 実施し、スキルや知識の向上を図っています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		本人や保護者の気持ちや現在の状況を整理し、個別支援計画に反映させるようにしています。	

	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		SDQ プロファイルや NC プログラム等のアセスメントツールを適宜実施しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		幼児期の豊かな体験を支えることができる様、スキルの獲得や楽しさを味わうことができるよう心がけております。また、保護者様の相談や生活の情報共有を密にし、ご要望に応じて各機関と連携する事について記述しております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		常に支援計画に沿った療育を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		コロナ禍中、活動など制限がある中でも幅広く、楽しい活動ができるよう話し合い連携を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		療育で良いものが有れば、積極的に職員間で共有し、誠意工夫を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している		○	密を避けつつも一体感を味わうことができる様壁面工作などで皆が共有できるよう取り組んでいます、	現在、感染予防の観点から小集団になるイベントを控え、個別療育を実施しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		気になる事は、朝礼で情報共有し、足りない時は追加で運営会議を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で情報共有し、次への療育に生かすことができるよう取り組んでいます。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		担当指導員が、その日の記録を必ず指導報告書に纏めています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		毎月、定期的にモニタリング会議を行い、支援計画の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		本人の活動をより効果的に情報共有できるよう、児発管や担当指導員が参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の意向や本人のニーズに沿って関係機関と連携を図っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご希望やニーズに応じて各機関と連携や支援会議を行う等、情報共有に努めています、	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の意向や必要性に応じて連絡を取り合い連携会議にも参加しています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関を招いた定期研修が行われています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	通所児童のご兄弟との交流は、時々ありますが、保護者のご意向として望まれていない方が多いので、難しいと思います。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域活動や集まりに積極的に参加、参画しています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動があるごとにフィードバックの時間などで情報共有を密にしています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		その場に応じた個別のご相談は受け付けておりますが、ペアレントトレーニングを実施できる職員がいません。支援技術を学ぶ機会が求められていますが、なかなか実行に移せていない現状にあります。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約の際に分かりやすいように丁寧にお伝えするよう、心がけています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援の内容をなるべく細かくご説明し、同意を得たうえで支援を行っています。変更の際、お会い出来ない保護者様にはお手紙にて説明を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		お子様の療育時間の待ち時間やフィードバックの時やお時間のある時に来所して頂くなど、出来る限り丁寧な対応ができるように努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		お子様だけでなく、人を集める活動は控えています。ご要望に応じて交流のもてるように同じ時間帯の療育にすることも可能ですので、ご相談を頂けると有難いです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応のご説明を契約時に行っています。また相談は申し入れがあった際には、すぐに職員間で共有し、迅速な対応ができるよう体制を整備しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		新しい情報を紙面でお伝えすることはありませんが、月2回程度を目安にブログを更新し日頃の活動をお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の書かれた書類は施錠して管理しております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様の特性に合わせて対応し、保護者様には、必要に応じて連絡ノートを使用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			コロナ以前はイベントも行われていたため、地域との関わりがありましたが、渦中はイベントを控えている為、地域との交流はない状況となっています。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時、災害内容に応じた避難場所を説明し、連絡手段として災害用伝言ダイヤルのご案内をしています。定期的に行われている防災訓練についてはブログに掲載するようにしています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に災害内容を変えて防災訓練を実施し記録に残しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			現在、薬の必要なお子様の来所はありません。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アレルギーチェックはしていますが、現在、本校では食事を摂る機会を設けておりません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットのファイルを作成し、事業所内に保管しています。HPに全国のヒヤリハット集を作成し、いつでも閲覧可能となっています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、定期的に虐待防止に関する研修を行い、全職員で共有できる体制を整えています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明し保護者様に了承をいただいております。重要事項説明書や児童発達支援計画にも記載しております。また、運営規定を掲示しいつでも確認できるようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌新琴似校

保護者等数（児童数）： 8 回収数： 5 割合： 62.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					伸び伸びと活動できるようこれからも務めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5					指定基準上、問題ない職員数が配置されています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1				周囲の刺激に敏感な方も利用できるような部屋がご利用可能です。また、事業所内は、段差のない構造となっています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					心地よく利用して頂けるようこれからも除菌・清掃に励んでいきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					成長に合わせてより良い支援を提供できるよう務めます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1				ガイドラインを遵守します。必要な目標を設定し、その支援内容を分かりやすく記載していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					今後も支援計画に沿った支援を心がけて参ります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5					療育で良いものが有れば、積極的に職員間で共有し、誠意工夫を行っています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2		2		現在のコロナ禍中、一緒に何かする活動について自粛しています。かつてはイベントで利用者のご兄弟など障がいの無いお子様と一緒に活動できる機会がありました。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4			1		今後もわかりやすい丁寧な説明ができるよう、務めて参ります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					支援計画を設定した際には以前の目標の達成度を踏まえ、必ず丁寧に説明するよう心がけています。これからもより丁寧に説明できるようにと努めていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1		1	無回答 1	その場に応じた個別のご相談は受け付けておりますが、ペアレントトレーニングを実施できる職員がいません。支援技術を学ぶ機会が求められていますが、なかなか実行に移せていない現状にあります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5					普段の生活の様子や活動中の様子、成長や変化について共有できるようフィードバックなどこれからも努めていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1				フィードバックや個別の案件についての相談をいつでも受け付けております。これからも気持ちに寄り添えるよう努めます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2	2	無回答 1	コロナウイルスが落ち着けば、イベントなどの交流の機会を作って行きたいと考えています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5					苦情対応についてご説明を契約時に行っています。また、相談や申し出がある時にはいつでも相談を受け付け迅速に対応致します。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					お子様の特性に応じて対応し、コロナウイルスにより通所が難しいときには遠隔支援を実施し、支援が継続して行うことができるようしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	2		1	月2回を目安にブログを公開し、日々の活動の様子について伝えております。是非ご覧ください。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5					個人情報の書類は施錠して管理しています。
非常時等	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者	5					契約時、災害内容に応じた避難場所を説明し、連絡手段として災害用伝言

満足度		に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか						ダイヤルのご案内をしています。定期的に行われている防災訓練についてはブログに掲載するようにしています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2			無回答 1	定期的に災害内容を変えて防災訓練を実施し記録に残しています。お子様たちも一緒に参加して取り組むなど行っております。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5					これからも子どもたちが楽しんでご利用頂けるよう務めて参ります。 家庭の過ごし方など成長したとの声を頂いております。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5					来所して気持ちが軽くなるような、楽しかったと思えるような事業所づくりをこれからも行っていきます。こんごともよろしく願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。